



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点

SDGS-IDセミナー

社会にインパクトある研究_C3感染症超克 共催

「感染症」×「公共政策」

現行法制度の見直しのための 基本的視点について考える

2022年6月24日（金） 12:00-13:00

【Zoom】参加無料【言語】日本語

参加登録

登録締切：6月23日（木）15:00迄

<https://forms.gle/WtDZyBtoND8JVi6T8>



＜プログラム＞	12:00-12:05	オープニング
	12:05-12:25	講演
	12:25-12:55	質疑・総合討議
	12:55-13:00	ラップアップ



講師

飯島 淳子

東北大学 法学研究科 教授（公共法政策）

講演概要

新型コロナウイルス感染症対応の検証とそれを踏まえた法改正に向けた作業が様々な場で行われています。多様な観点・アプローチから多岐にわたる課題が指摘されるなか、最近下された下級審判決（東京地裁令和4年5月16日判決・グローバルダイニング訴訟）を素材として、問題をどのように捉え、どのような枠組みにおいて現行法制度を再設計していくべきなのか、法制度的観点から考えてみたいと思います。



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点（SDGS-ID）

■ 拠点Web：<http://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp>

■ お問い合わせ：sdgs-id@med.tohoku.ac.jp



東北大学 社会にインパクトある研究 -C3感染症超克

http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/c3_infectious_disease.html